

プロジェクト運営特論

(Project Execution and Monitoring)

種別・単位：講義・2単位（集中講義）

開 講 期：前期

担 当 者：青柳雅之，PMP（PMI東京支部）
永地恒一，PMP（PMI東京支部）
竹腰重徳，PMP（PMI東京支部）

主題と目標

プロジェクトの実行、プロジェクト実績の測定とそのコントロール、プロジェクトの変更の管理方法、プロジェクトの終結プロセスを理解し、次の目標を達成する。①プロジェクトの実行チーム育成と動機付けについて説明できる。②優れたコミュニケーションに必要な要素について説明できる。③発注先の選定と契約について説明ができる。④品質保証の設計ができ、品質管理に必要なツールと技法について説明できる。⑤プロジェクトの各種変更の管理について説明できる。⑥プロジェクトの終結に必要な契約、完了処理について説明できる。

授業計画（項目、授業実施回数、内容）

項 目	回	内 容 説 明
実行プロセス群	3	プロジェクト計画の実行、プロジェクト・チームの編成および育成、プロジェクト・マネジャーの最重要スキルであるコミュニケーションを理解する。
実行・監視コントロール・プロセス群	2	納入者回答依頼プロセス/納入者選定プロセス/契約管理プロセス、品質保証と品質管理、について理解する。
監視コントロール・プロセス群	4	スコープ検証、実績報告、統合変更管理、スコープ・コントロール、スケジュール・コントロール、アーンド・バリュー分析、コスト・コントロール、リスク管理について理解する。
終結プロセス群	1	プロジェクトの完了/契約完了について理解する。
PM運営特論まとめ	1	PM運営特論の全般的な流れを理解する
事例演習 ロールプレイ、討議・発表	5	MS Projectを使用し、仮想的なプロジェクトでプロジェクト管理全体の流れを体験する。演習後、論点を討議、プレゼンテーションを行う。

評価・教材・受講条件等

《評価》 講義の出席率、演習参加、プレゼンテーション（事例演習 討議・発表）の評価比率を4：2：4とする。

《教材》 講義テキスト、MS Project演習マニュアル

補足教材：プロジェクトマネジメント知識体系（PMBOK）ガイド 第3版（必須）

《受講条件等》 プロジェクトマネジメント特論、プロジェクト計画特論1、プロジェクト計画特論2を履修していることを前提としている。